

# 子ども読書支援センターニュース No.151

2016.12.28

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

## ★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

### ★幼児のためのおはなし会

○日時：平成29年1月10日（火）11:00～11:20 ○会場：山口県立山口図書館 ○対象：幼児

### 《12月のおはなし会で使った本》

『しろいふゆ』 ロバート・サブダ/さく ながせひな/やく 大日本絵画 2008

『雪の結晶』 ジェニファー・プレストン・シュシュコフ/文 エフゲニア・イエリヤツカヤ/絵&しかけ グラフィック社 2016

『クリスマス』 瀬名 恵子/作画・解説 教育画劇 1992

『さんさんさんかく』 得田之久/ぶん 織茂恭子/え 童心社 2008

『ぐりとぐらのおきゃくさま』 中川李枝子/文 山脇百合子/絵 福音館書店 2003

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

### 【新刊紹介】 価格は消費税抜き

#### <絵本-乳幼児から>

『じゃあじゃあびりびり てんじつきさわるえほん』 まついのりこ/さく 偕成社 2016.11 ¥2200

じどうしゃ、ぶーぶーぶー。いぬ、わんわんわん…。ロングベストセラーの赤ちゃん絵本が、見えない人も見える人も一緒に楽しめるように、点字・触図付きの絵本になった。絵の部分にも隆起印刷が施されているので、形をさわって確かめることができる。各場面の色も「緑の背景に黄色い車」と点字で説明されている。原書と同サイズの丈夫なボードブック。

#### <絵本-3, 4歳から>

『おばあちゃんとバスにのって』 マット・デラ・ペーニャ/作 クリスチャン・ロビンソン/絵 石津/ちひろ/訳 鈴木出版 2016.9 ¥1500

日曜日の教会の後は、いつも「スープキッチン」とアメリカで叫ばれるボランティア食堂でお手伝いをするおばあちゃんと孫のジェイ。おばあちゃんと一緒なら、うっとりしい雨も素敵に感じられるし、少々汚い街並みの中にも美しいものが見つかるよ。人間の賢さ、優しさが感じられる、2016年のニューベリー賞、コールデコット賞オナー賞をダブル受賞した翻訳絵本。

#### <絵本-5, 6歳から>

『はじめてのオーケストラ』 佐渡裕/原作 はたこうしろう/絵 小学館 2016.11 ¥1500

みーちゃんのパンがオーケストラの指揮者。「小学校1年生になったらコンサートに招待するよ」とパンがいわれ、心待ちにしている。年末のある日、みーちゃんはママと一緒に初めてのコンサートに出かけ、パンが指揮する「第九」を聴き、音楽に酔いしれる。「子どもたちにクラシックコンサートへ足を運び、生の音楽に触れて欲しい」と、世界的指揮者が手がけた絵本。

#### <絵本-小学校低学年から>

『まめまめくん』 デヴィッド・カリ/文 セバスチャン・ムーラン/絵 ふしみみさを/訳 あすなろ書房 2016.10 ¥1000

まめまめくんは、まめつぶみたいで小さな男の子。マッチ箱の中で眠るまめまめくんは、小さいけれど、何の不自由なく楽しく過ごしてきた。でも小学校に入ったら、何をするのに小さすぎ。友達とも遊べず、いつも一人ぼっちで絵を描いていた。でも大人になったら、自分にぴったりの素敵な仕事が見つかった。みんなとちょっと違う子にエールをおくる、心あたたまる絵本。

#### <絵本-小学校中学年から>

『ペンギンかぞくとおそろしい山』 藤原幸一/著 アリス館 2016.10 ¥1400

南極でふ化した2羽のペンギンの赤ちゃん。家族のためにエサを探しに海に向かった父親ペンギンは、人間が捨てた針金で怪我をして、命を落とす。必死に生きるペンギンたちに立ちほだかるのは、人間が80年以上にわたり捨て続けたゴミの山。尖った針金、ガラス破片、危険な電池やアスベストなど…。南極で生きるペンギンや動物たちの姿を紹介した写真絵本。

『おとうさんのクリスマスプレゼント』 スギヤマカナヨ/著 赤ちゃんともママ社 2016.11 ¥1200

「お父さんは子どもの頃、サンタさんから何をもらったの？」ぼくが聞くと、お父さんは子どもの頃のクリスマスプレゼントの話をしてくれた。サンタさんからもらって嬉しかったプレゼントや、12歳の時の最後のクリスマスプレゼントの思い出など…。親から子へ、子から孫へとつながついていく愛情が心に染みる。幸せな親子の姿を描いたクリスマス絵本。

#### <絵本-小学校高学年から>

『ファウスト』 ゲーテ/原作 ハルバラ・キンダーマン/再話 クラウス・エンジカート/絵 酒寄進一/訳 西村書店 2016.11 ¥1800

ドイツの文豪ゲーテによる不朽の名作、戯曲『ファウスト』。悪魔メフィストと契約し若返ったファウスト博士は、地上での幸せを追求し、美しい娘グレートヒェンと恋に落ちるが…。『ファウスト』第一部を、わかりやすい散文で再話。国際アンデルセン賞受賞画家エンジカートによる美しく細密なペン画による古典名作の絵本。「アートな絵本シリーズ」第10弾。

#### <読み物-小学校低学年から>

『サバンナのいちにち』 斎藤洋/さく 高島純/え 講談社 2016.10 ¥1200

夜、サバンナの真ん中で一番高いソコバブの木で眠るハゲワシ。朝になると水辺に走ってくるサイを待ち構え、根性だめしを楽しむ3頭のヒョウの子ども達、シマウマの群れに忍び込んで、いたずらをするオカピ。時間帯で違う表情を見せるサバンナの1日を、8編のユーモラスなお話で描く。同じ作家と挿し絵画家で1988年に発刊した「どうぶつえんのいっしゅうかん」の姉妹編。

『にわとり城』 松野正子/作 大社玲子/絵 こぐま社 2016.10 ¥1200

農家ののろまな息子と、卵を産んだことのないやせた小さなめんどり。住んでいた家を騙しとられ、二人はあてもなく旅に出ると、夜の魔物の魔法にかけられた真っ暗な森に迷い込んでしまう。ついに魔物の出したなぞなぞに答えることができずに、息子は魔法でおんどりにされてしまう。1979年発刊の『かぎのすきな王さま』（童心社）の中の一話の改編。

#### <読み物-小学校中学年から>

『クマのプー』 A.A. ミルン/原案 森絵都/訳 KADOKAWA 2016.10 ¥1800

100 エーカーの森を舞台に、全世界のファンが待ち望んだ、プーと仲間たちの新しい冒険が始まる。「クマのプー」発行90周年を祝って、4人の児童文学作家が1編ずつ書き下ろした、春夏秋冬の4つの物語。冬の章には、内気でお行儀のよい、新しいキャラクターのペンギンが登場。原作者A.A. ミルンの一族が正式に認めたシリーズ最新書き下ろし公式続編。

<読み物一小学校高学年から>

『あかりさん、どこへ行くの?』 近藤尚子/作 フレーベル館 2016.10 ¥1300

タケシが冷蔵庫を開けると新品の靴が入れている、お昼に弁当箱を開くと食べた跡が…。最近なんだか変なことが起きていたが、これが祖母の仕業だったとは…。祖母あかりさんのパーキンソン病の進行と認知症の発症で、家庭崩壊の危機に脅かされながらも、家族や親友、初めての異性の友だちと共に、祖母に寄り添い、成長していく物語。著者の実体験を元に創作。

『ぼくたちのおぼけ沼』 中村淳/著 藤本四郎/絵 汐文社 2016.11 ¥1400

東京から転校してきた小5のぼくはなかなか友だちができない。ある日、一人で出かけた池で、クラスの嫌われ者ヒロアキと出会い意気投合、釣りを楽しむ仲に。しかし、折角仲良くなれたのに、ひよんなことから気まづくなり、口もきかなくなってしまう。そして、突然、ヒロアキが入院手術をすることに…。第24回小川未明文学賞優秀賞受賞作「野生の力がのりうつる」を一部加筆改稿。

<読み物一中学生から>

『ひかり生まれるところ』 まはら三桃/著 小学館 2016.11 ¥1400

神社と何の関係もない家庭の奥山希美が、中学生から志した女性神職。奉職して5年目、ついに七・五・三の昇殿祈願で祝詞デビューする。午前中の祈願が終わった希美に声をかけてきたのは、中学の同級生みさき。ふたをしてきた希美の心の傷が痛み出す。現在の神職を全うする中で、ようやく中2の時の自分と向き合い、成長していく少女の姿を描く。作者は山口市在住。

『フラダン』 古内一絵/作 小峰書店 2016.9 ¥1500

2年になって水泳部をやめた穰(ゆたか)にフラダンス愛好会入部のしつこい勧誘が!男女混合によるフラガールズ甲子園出場を目指して集められた、ちぐはぐな4人の男子高校生を中心に繰り広げられる笑い涙の青春ストーリー。震災から5年後の福島県立工業高校を舞台に、彼らの日常生活に隠された、震災の傷を浮き彫りにする。「Sunmyside Books」シリーズ。

『スマート キーラン・ウッズの事件簿』 キム・スレイター/作 武富博子/訳 評論社 2016.10 ¥1400

川に死体が浮かんでいるのを発見したキーラン(中2)は、殺人事件と信じ、天才的な絵の才能と観察眼を生かし、見聞きしたことを克明に記録していく。義気に虐待され、周囲から「低脳」呼ばわりされる彼が、個別指導のクレーン先生の教えを胸に行動する中で社会性を身に付け、事件に迫っていく。独特な個性を持つキーランの視点から周囲を見る、本作品が作者のデビュー作。

<ノンフィクション一小学校低学年から>

『外来生物ずかん』 五箇公一/監修 ネイチャー&サイエンス/編著 ほるぷ出版 2016.11 ¥3600

クサガメやウシガエル、ブラックバスがよく見かける生き物だけど、外来生物だって知ってた?もともとその地域には生息せず、外から持ち込まれた生き物である外来生物と、それに関わる生き物を、さまざまな問題点とともに紹介。わたしたちができることや、外来生物を見つけた時にはどうすればいいかが分かる。豊富な写真とイラストで身近な環境問題について楽しく学べる図鑑。

<ノンフィクション一小学校中学年から>

『こども菜根譚』 齋藤孝/監修 日本図書センター 2016.10 ¥1500

「菜根譚」とは、今から400年前の中国で書かれ、今でもたくさんの人々に愛されている書物。時代や場所で左右されず、どうすれば逆境を乗り越え、周りの人たちとうまくつき合っていくのか、生きていく上で役立つ考え方が書かれている。その中から、子どもに役立つような24の言葉を、「こども訳」でわかりやすく説明。さらに、イラストやより詳しい解説で紹介する。

<ノンフィクション一小学校高学年から>

『学校で知っておきたい著作権①本の一部をコピーして授業で配ってもいいの?』 小寺信良/著 汐文社 2016.11 ¥2500

学校の中の著作権や、著作権の権利制限、著作権の保護と利用のバランスなど、「学校生活」に関する話題を中心に解説。「テレビ番組を録画して授業で使ってもいいの?」「友だちが書いた感想文や作文の一部を使ってもいいの?」など、身近な疑問をQ&Aで掲載。『運動会の旗に漫画キャラを描いてもいいの?』、『ネットの写真は、SNSで使ってもいいの?』の全3巻。

<ノンフィクション一中学生から>

『楽しい動物化石』 土屋健/著 河出書房新社 2016.10 ¥1600

尾部がセクシー!?メテオラスピス、キュートな頬が特徴ディクラノペルティスなど太古の時代にいた世にも不思議な生き物を、サイエンスライターが、楽しく紹介する。ダイナミックな化石の写真や復元骨格の写真に、古生物愛あふれるコメントや立体的に再現したグラフィック画像が添えられた入門書。最後に本書紹介の所蔵博物館ガイドを掲載し、実物の化石にまで誘う。

『研究するって面白い! 科学者になった11人の物語』 伊藤由佳理/編著 岩波書店 2016.10 ¥820

中高生の母親と同じくらいの年齢の女性科学者11人が、理系女子の少なかった時代にどのように進路を決め、今があるのかを語る。6年に一度しか咲かない沖縄の花の謎を調べる植物生態学者、ミクロの世界からがんの原因解明と治療開発に挑む医学者などが、研究のおもしろさを伝え、理系分野の学問を紹介し、進路を考える若者へエールを送る。岩波ジュニア新書。

<研究書>

『あの本この本どんな本 子どもの本の紹介文の書き方』 川上博幸/著 児童図書館研究会近畿支部 2016.8 ¥925

公共図書館で30年、本の紹介文や書評を書いてきた著者が、本の案内の必要性から、ブックガイドの基礎、紹介文を書く際のポイントや手順まで丁寧に解説。後半は、実際の紹介文の例を「児童文学」「主題図書」「絵本」というジャンル別に、比較しながら多数紹介。練習用として、実際に図書館関係者の書いた紹介文を筆者が改良したり、添削したものも掲載している。

県内の動き

★読みきかせ絵本を楽しむ会

- 日時:平成29年1月12日(木)10:00~12:00 ○会場:山陽小野田市立中央図書館 2階 第1会議室
- 対象:絵本の読み聞かせ活動に関心のある大人(初心者向き) ○定員:15名(要申込み)
- 参加費:無料 ○照会先:山陽小野田市立中央図書館(TEL:0836-83-2870)

★おとなのためのおはなし会

- 日時:平成29年1月14日(土)14:00~ ○会場:山口市立小郡図書館 2階 会議室
- \*小さいお子さまの同伴は御遠慮ください。
- 照会先:ストーリーテリングの会「おはなし小箱」(山本律子:TEL:083-923-0093)

★子どもと本をつなぐ~小学生への読み聞かせ、中学生への読み聞かせ~

- 日時:平成29年1月25日(水)10:00~11:30 講演会 11:30~12:00 実演会・質疑応答
- 会場:光市教育委員会ホール(光市光井9丁目18番3号)
- 対象:読み聞かせボランティアをされている方、子どもの読書推進に興味関心のある方
- 定員:一般50名(先着順) ○参加費:無料 ○講師:小林 いづみ氏(呉ストーリーテリング研究会代表)
- 照会先:光市立図書館(TEL:0833-72-1440 Eメール:library@hikari-library.jp)

※子どもの本や読書についてのイベント情報をお寄せください。